

国民にとって、わかりやすく、 より信頼される存在を目指す

一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会 会長

渡辺秀一



本日の総会および理事会で、新たに会長として選任されました渡辺でございます。まずは、2013年より3期6年にわたり、卸連合会のためにご尽力された鈴木前会長に心より御礼申し上げます。卸連合会は、78年という長い歴史を経て今日に至っています。いま、私たちがこうして役割を果たさせていただいているのは、卸連合会で切磋琢磨してこられた諸先輩方の並々ならぬ努力の賜物だと思っております。そのような歴史ある卸連合会の会長を拝命いたしましたことは、身の引き締まる思い、という言葉だけでは表せないほどの大きな

重責だと思っております。微力ではありますが、鈴木前会長が進めてこられた取り組みをしっかりと継承し、課題に対して一つひとつ着実に取り組んでいきたいと思っております。

会長就任にあたり、主に4つのことに注力をしていきたいと思っております。

1つめは、流通改善ガイドラインのさらなる遵守に取り組み、医薬品流通の本来あるべき姿の実現に向けて邁進してまいります。昨年度、会員各社は流通改善の意義を正しく理解し、流通改善ガイドラインの遵守に積極的に取り組みました。そ

の結果、関係者のご協力もあり、単品単価契約や過大な値引き交渉の是正など、一定の改善を図ることができたと思っております。流通改善の必要性を一言でいえば、それは一般国民から見てわかりやすい取引に変えていくことに尽きると思えます。その意味では、まだ道半ばであり、今年度も引き続き強い決意で取り組んでまいります。

2つめは、医療保険制度や薬価制度のもと、国民から信頼が得られるよう、医薬品流通を担う卸が果たすべき役割を全うしてまいります。今年度は10月に、消費税率引上げに伴う薬価改定が予定されています。来年度は通常改定があり、さらに2021年度には、初年度となる中間年の薬価改定への対応が予定されています。いままでにないスケジュールに沿って進んでいくこととなります。医薬品を安全かつ安定的に供給することが、卸の最大の使命であり、そのような観点から卸連合会としての意見を表明していく必要があります。医療現場に流通の支障や混乱が起きることのないよう、関係者などとの連携を十分に図り、主体性をもって臨んでいきたいと思えます。

3つめは、卸の安定供給機能を高めるとともにコンプライアンスを踏まえた盤石な流通体制を構築してまいります。先の平成時代は、地震、台風、豪雨など、実に多くの自然災害が発生しました。そのような有事に直面しても、私たちは常に高い使命感を持って安定供給に努め、責任を果たし続けることができました。この献身的な活動の積み重ねにより、卸は必要な存在であるとの社会からのご評価がいただけるようになったのではないかと考えております。しかし、有事のときだけではなく平時における卸の存在意義については、まだまだご理解いただかなくてはならない状況だと思えます。実際に難病などの治療のための特殊医薬品は、温度管理や保管に細心の注意を払い、高い品質を担保して確実にお届けしており、多くの命を支えています。平時、有事の区別なく、常に卸は社会インフラとして必要な投資を行い、安全、安心な医療を国民に届けているということを広く社会に認識していただけるよう、働きかけていきたいと思えます。

4つめは、グローバルな観点で日本の卸の役割をご理解いただくことであり、まずは2020年10月

に開催されるIFPW東京総会を成功に導き、国際協調を充実させてまいります。IFPW東京総会では、「革新を遂げる医療とともに進む医薬品卸」というメインテーマを掲げており、鈴木IFPW会長のもと、現在、準備を進めております。久しぶりの日本開催となりますので、内容、雰囲気ともに日本らしさをご理解いただけるものにしていかなければと考えております。

以上、申し上げた4つの柱を中心に真摯に取り組み、医療用医薬品の安全かつ安定的な流通を通じて、国民の健やかな暮らしを支えていきたいと思えます。

日本では世界に先駆けて少子高齢化が進んでいます。人口が減る国は経済が成長しない、との悲観的な見方も一部にはあります。しかし私たちは、予防、診断、治療、健康維持といったさまざまな領域において、健康でありたいと願う人々の希望に寄り添い支えることができる、夢とやりがいのある恵まれた産業ではないかと思えます。それゆえ国民からは期待の目と厳しい目の両方で見られることとなります。私たち卸が真に信頼される存在となり、誇れる職種として発展していくためには、私たちは考え方や行動を業界基準ではなく、国民から見ても理解できるものに変えていかななくてはならないと思えます。

新時代の令和では、いままで以上に健やかさに対する国民の関心が高まり、意識や行動も大きく変わっていくことが予想されます。世の中の変化に取り残されないよう、私たち卸も事業やサービスのあり方を考えていく必要があります。しかし、どのような時代になったとしても、人をいたわる優しさや、届けるあるいは繋ぐといった姿勢は変わらないように思います。未来に向けて、卸が国民に対してどのようなかたちで貢献できるかを卸連合会の皆様とともに考え、国民にとって、わかりやすく、より信頼される存在を目指して行動していく所存であります。卸連合会の皆様には、何卒お力添えをいただきますよう心よりお願い申し上げます。新会長の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

*本稿は、令和元年5月23日に開催された当卸連合会の第7回通常総会における、渡辺会長の就任挨拶に基づき作成したものです。